

## 社長メッセージ



### 仕事・利益の「質」にこだわる



旧三井物産初代社長・益田孝は、「眼前の利に迷い、永遠の利を忘れるごとくことなく、遠大な希望を抱かれることを望む」と語り、未来へ向けて社会が抱える課題の解決に向けて真摯に立ち向かう姿勢の重要性を説きました。この理念を我々のDNAとして確りと受け継ぐとともにこれからの道標とし、単に利益を上げればよいという考え方ではなく、お客様やパートナー、社会から評価され、また、自らも納得感・満足感が得られる意義ある仕事をしなければなりません。日本の再生、ひいては世界の発展のためという視点から、「仕事の質」と「利益の質」にこだわりつつ、世の中に役に立つ「良い仕事」を積み上げることで、次の世代に貢献していきたいと考えています。

### 当社の使命 ～「良い仕事」の実践

社会が抱える課題の解決に努めていくことが当社の使命であり、本業を通じて「良い仕事」を実践していくことが当社のCSR(企業の社会的責任)だと考えています。特に近年、世界の人口が増え続ける中、資源はもちろんのこと食糧や水などの安定供給は喫緊の課題となっており、川上領域での事業展開などを通じて、日本へのエネルギーと食糧の安定供給の実現に努めることは、社会に対する大きな責務であると認識しています。そうしたさまざまな社会的課題を本業を通じて解決すべく、「良い仕事」に積極的に取り組んでまいります。

### 人材育成の取り組み

「良い仕事」を主体的に実践していくのは、社員であり、鍵を握るのは人材です。どのような環境変化があっても、グローバルな視点を持ち柔軟かつ的確に適応できる人材が数多くいれば、会社は着実に進化を遂げ、成長を持続していくことができるはずで、私は、人材育成こそが当社の持続的成長を実現する鍵であり、持続可能社会の実現に向けて当社が貢献していく為の重要な基盤になると考え、今後も人材育成への投資を惜しみません。

### 持続可能社会の実現に向けて

日本や世界に持続的に貢献していくためには、第一に当社自身の経営が持続可能であることが必要であり、持続可能な経営を実現するためには、健全な危機感を持って、変化する社会のニーズに応えるべく、業態を絶え間なく柔軟に進化していくことが不可欠です。私は、世の中の環境変化を意識し、個々の現場の仕事が社会の役に立つ「良い仕事」なのかを自問自答し、ビジネスモデルを変革していくことが大事だと思っています。そのためには、ステークホルダーとの対話を密にし、社会のニーズを積極的に把握する努力を続け、常にCSRを意識した経営を推進していかなければなりません。これからも、仕事の質、利益の質を高め、「良い仕事」を通じて社会に価値を提供し続けることで、持続可能社会の実現に貢献するべく尽力していきます。

三井物産株式会社  
代表取締役社長

飯島 彰己